

令和4年度春学期授業アンケート結果について

【講評】

講評およびデータにおいては西暦表記を用いますことをご了承願います。2022年春学期は遠隔講義移行から5学期目の一方で、対面授業の割合も増大いたしました。また、本学期においては緊急事態宣言等により対面授業を遠隔授業に変更するという事態は生じませんでした。低下傾向にあった回答率は遠隔講義移行最初の2020年度春と同水準まで上昇しましたが、対面講義が行われた2019年以前と比べますと半分程度にとどまっております（回答率：2022年度春29.54%、2021年度秋25.62%、2021年度春26.32%、2020年度秋23.68%、2020年度春30.31%、2019年度秋55.95%、2019年度春60.64%）。回答率が50%以上の科目は、実施対象科目439科目のうち73科目と遠隔講義移行後最高となりました（2021年度秋449科目中43科目、2021年度春439科目中47科目、2020年度秋436科目中27科目、2020年度春398科目中32科目）。学生コメントの件数も前学期に比べ増加しました（学生コメント：2022年度春1,105件、2021年度秋964件、2021年度春1,176件、2020年度秋1,052件、2020年度春1,629件、2019年度秋1,480件、2019年度春2,546件）。

アンケート全体の平均数値は、これまでより若干低下しました。その中で改善希望の割合は20.1%で、前学期に続き低い水準にあります（2021年度秋20.2%、2021年度春22.4%、2020年度秋22.1%、2020年度春28.9%、2019年度秋23.4%、2019年度春39.7%）。

本結果は学生の生の声を集約したものです。先生方には、結果を十分吟味検討し、わかりやすく学生の満足度の高い授業の実現へ役立てていただくことを切に望みます。とくに今回の授業満足度が低評価となった科目においては、授業改善に早急対応をお願い申し上げます。

※ アンケート項目の一部を対面及び遠隔授業に対応した内容に変更しました（質問項目下線部分）。13の質問項目のうち授業の内容、技術に関する問9までの項目を抽出し、次ページ以降において9つの科目グループごとに、前年同期（2021年度春学期）前々年同期（2020年度春学期）と比較できるよう掲載しました。

質問項目（下線は対面授業時との変更内容）

- 問1 授業の到達目標（テーマや目的）は毎回明確に示されておりましたか。
- 問2 授業内容（授業資料や課題を含む）は理解しやすい適切なレベルでしたか。
- 問3 授業は学生の理解度や学修の進捗度を確かめながら進められておりましたか。（授業中または授業全体を通して）。
- 問4 （対面授業）教員の声や話し方は聞き取りやすかったですか。
（遠隔授業）授業資料や課題は適切な量だったと思いますか。
- 問5 （対面授業）教員は教えることに熱意・情熱を持って授業に取り組んでおりましたか。
（遠隔授業）授業資料や課題は分かりやすくまとめられておりましたか（説明されておりましたか）。
- 問6 （対面授業）教員は授業を妨害する私語や途中退室などに適切な処置を取っておりましたか。
（遠隔授業）授業ではその日の授業内容を踏まえた「課題」が提示されておりましたか。
- 問7 教員は課題や小テストに対するフィードバックや質問に対する回答に努めておりましたか。
- 問8 この授業から学習への刺激や触発を受けることが多かったと思いますか。
- 問9 この授業を受けて満足しましたか。
- 問10 あなたがこの授業に出席した比率は、およそ何%ですか。なお、ここでいう「出席」とは、対面型・同時双方向型以外では、期限内に課題を提出した場合を指します。
- 問11 あなたはこの授業1回に対して、予習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか。
- 問12 この授業を受講する際に主に使用した機材は何ですか。1つ選んでください。
- 問13 教員は授業開始時間を守っておりましたか。／教員は授業開始時間までに授業資料や課題を準備しておりましたか。

◆ アンケート実施科目全体の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9
2022 春 439 科目	20,052	5,924	29.54	4.23	4.14	4.10	4.18	4.20	4.16	4.14	4.01	4.14
2021 春 429 科目	19,984	5,260	26.32	4.26	4.16	4.13	4.20	4.24	4.21	4.18	4.01	4.16
2020 春 398 科目	19,191	5,817	30.31	4.29	4.11	4.03	4.08	4.13	4.27	4.10	3.95	4.07

2021 年度に教育課程（カリキュラム）を改定したことで、1 年次の開講科目数及びアンケート実施科目数が増えました。今学期の回答率は改善したものの Q8 を除く全ての項目で前年同学期より数値が低下しました。

1. 共通教育科目の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9
2022 春 56 科目	6,052	1,643	27.15	4.20 (4.23)	4.05 (4.14)	4.00 (4.10)	4.10 (4.18)	4.11 (4.20)	4.13 (4.16)	4.07 (4.14)	3.93 (4.01)	4.05 (4.14)
2021 春 51 科目	4,629	1,049	22.66	4.23 (4.26)	4.07 (4.16)	4.05 (4.13)	4.15 (4.20)	4.17 (4.24)	4.18 (4.21)	4.14 (4.18)	3.93 (4.01)	4.07 (4.16)

※（ ）内はアンケート全体の数値

全学部共通の共通教育科目（語学、実習科目を除く）の各項目の数値は、全体の平均と比べて低く、昨年度に比べると Q8 を除いたすべての項目で数値が低下しています。

2021 年度春学期から、情報科目の受講拡大に対応すべく情報処理が情報処理演習へと変更され、アカデミックスキルにおいても新規科目が追加開講されたりしています。このような科目変更があったにもかかわらず、2021 春学期と比べても授業満足度等に特に大きな差はなくおおむね好評を維持できています。

来年度以降においては、文科省による「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」への申請に向けた取り組みが本格化していきます。また、現在の高校一年生から情報科目が高校の授業において必修となり、3 年後には高校で情報科目を履修した学生が入学してきます。そのため、情報系に関わる科目（これらの科目のみでなく、より広く倫理学あるいは専門科目における情報系に関係している科目）との連携についても考えていくことが望まれます。

また、教養科目群については、その大多数が遠隔授業で開講され、履修者数も多くなっています。

2. 外国語科目（英語必修科目）の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9
2022 春 47 科目	1,246	416	33.39	4.00 (4.23)	4.07 (4.14)	4.02 (4.10)	4.11 (4.18)	4.15 (4.20)	4.04 (4.16)	4.07 (4.14)	3.84 (4.01)	3.99 (4.14)
2021 春 41 科目	1,143	262	22.92	3.97 (4.26)	3.92 (4.16)	3.98 (4.13)	4.09 (4.20)	4.15 (4.24)	4.06 (4.21)	4.05 (4.18)	3.75 (4.01)	3.94 (4.16)

※（ ）内はアンケート全体の数値

2021年度の教育課程（カリキュラム）の改定により、1年次の開設科目数及び開講科目数が大幅に増えました。語学系科目は少人数で行われていることもあり、回答率がほとんどの科目で低くなっております。そのためアンケートの結果を鵜呑みにすることはできませんが、必修の英語科目においては、ネイティブスピーカーによる授業の数値が日本人教員による授業のものよりも低い傾向にあり、本学の学生が英語のどのあたりを苦手としているか（すなわちリスニングとスピーキング）が反映されているようにも思います。

3. 外国語科目（選択科目）の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9
2022 春 27 科目	849	263	30.98	4.22 (4.23)	4.12 (4.14)	4.13 (4.10)	4.15 (4.18)	4.21 (4.20)	4.15 (4.16)	4.09 (4.14)	3.96 (4.01)	4.11 (4.14)
2021 春 30 科目	953	226	23.71	4.20 (4.26)	4.13 (4.16)	4.14 (4.13)	4.13 (4.20)	4.28 (4.24)	4.19 (4.21)	4.19 (4.18)	4.00 (4.01)	4.15 (4.16)

※（ ）内はアンケート全体の数値

全学部共通の外国語の選択科目についても、回答率がほとんどの科目で低く、それぞれの科目に関して、アンケートの結果を鵜呑みにすることはできませんが、新カリキュラムの科目においては、必修の英語に比べてどの言語のどの科目においても数値が高くなっているのは、学生が選択して履修しているからであるようにも思われます。英語以外の外国語については、多くの授業において、授業満足度が高い数値となっています。対面授業であったことに加え、先生方の授業改善の効果が表れたことがその要因として挙げられるかと思われます。

4. 留学生科目の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9
2022 春 3 科目	86	32	37.21	4.37 (4.23)	4.34 (4.14)	4.43 (4.10)	4.46 (4.18)	4.46 (4.20)	4.18 (4.16)	4.31 (4.14)	4.15 (4.01)	4.31 (4.14)
2021 春 3 科目	85	24	28.24	4.62 (4.26)	4.54 (4.16)	4.50 (4.13)	4.41 (4.20)	4.50 (4.24)	4.25 (4.21)	4.41 (4.18)	4.33 (4.01)	4.54 (4.16)

※（ ）内はアンケート全体の数値

留学生科目は、昨年度に比べていくつかの項目で数値が低下しましたが、授業満足度は高く、また全体の平均と比べても高い数値となっています。

5. 法学部専門科目の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9
2022 春 38 科目	2,200	833	37.86	4.19 (4.23)	4.09 (4.14)	4.02 (4.10)	4.15 (4.18)	4.17 (4.20)	4.09 (4.16)	4.09 (4.14)	3.94 (4.01)	4.10 (4.14)
2021 春 35 科目	2,368	762	32.18	4.29 (4.26)	4.11 (4.16)	4.05 (4.13)	4.16 (4.20)	4.21 (4.24)	4.15 (4.21)	4.16 (4.18)	3.92 (4.01)	4.10 (4.16)

※（ ）内はアンケート全体の数値

法学部の専門科目は、回答率が低いものの、全体平均と比較して全ての項目において数値が上回っています。授業満足度だけではなく、授業内容のレベルの適切さを問う設問（Q2）や、授業

運営に関する設問(Q3～7)においても高い数値となっている授業が多く、先生方の授業改善の成果が数値となって表れているように思われます。

6. 現代ビジネス学部専門科目の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9
2022 春 82 科目	6,810	1,860	27.31	4.26 (4.23)	4.15 (4.14)	4.11 (4.10)	4.18 (4.18)	4.20 (4.20)	4.19 (4.16)	4.16 (4.14)	4.05 (4.01)	4.15 (4.14)
2021 春 79 科目	7,433	2,057	27.67	4.28 (4.26)	4.19 (4.16)	4.14 (4.13)	4.20 (4.20)	4.24 (4.24)	4.24 (4.21)	4.17 (4.18)	4.04 (4.01)	4.18 (4.16)

※ () 内はアンケート全体の数値

現代ビジネス学部の専門科目においては、回答率が上昇しましたが、全項目が全体平均を下回るとともに昨年よりも数値が低下しました。例年、自由記入欄への学生の回答では、授業形式や難易度に関して同じ授業においても賛否が分かれていることが多く見受けられますが、地域経済学科においては学生の学力差に大きな開きがあるためとりわけこの傾向が強く、受講生全員を満足させる授業をすることの難しさを痛感させるものとなっています。また、より専門性の高い科目になるほど授業満足度が下がっていく傾向にあるようにも思われます。もちろん授業改善の余地はあるものの、カリキュラムが機能していることの現れともいえるでしょう。この点につきましては、今後も検証していきたいと思えます。

7. 資格科目（スポーツ指導員科目・教職課程・図書館学課程）の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9
2022 春 21 科目	308	80	25.97	4.25 (4.23)	4.31 (4.14)	4.16 (4.10)	4.22 (4.18)	4.27 (4.20)	4.13 (4.16)	4.11 (4.14)	4.26 (4.01)	4.30 (4.14)
2021 春 23 科目	735	176	23.95	4.30 (4.26)	4.25 (4.16)	4.16 (4.13)	4.24 (4.20)	4.24 (4.24)	4.33 (4.21)	4.18 (4.18)	4.14 (4.01)	4.23 (4.16)

※ () 内はアンケート全体の数値

2021 年度の教育課程（カリキュラム）の改定により、スポーツ指導員科目の一部が資格科目から地域経済学科のコース科目群に移動したため、アンケート対象科目数が減少しました。また、資格科目においては回答者が非常に少ない科目が多く、数値について前回と一律に比較することは難しくなっています。

8. 実習科目の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9
2022 春 2 科目	54	15	27.78	4.20 (4.23)	4.06 (4.14)	4.20 (4.10)	4.13 (4.18)	4.33 (4.20)	4.20 (4.16)	4.20 (4.14)	4.20 (4.01)	4.20 (4.14)
2021 春 2 科目	52	8	15.38	4.00 (4.26)	4.12 (4.16)	4.12 (4.13)	3.87 (4.20)	3.87 (4.24)	4.00 (4.21)	4.00 (4.18)	3.87 (4.01)	3.87 (4.16)

※ () 内はアンケート全体の数値

実習科目については、秋学期に実習を実施する科目が多くアンケートの実施が2科目でした。そのうち1科目は、海外語学実習代替科目として、昨年引き続きオンラインでの海外の先生による

授業が実施されました。国内での実習についても行動制限の中での実施となり未だに十分な学外での活動が出来なかった中、このような数値であったというのは、授業運営の工夫と、先生方の骨折りと健闘によるものではないかと思われます。

9. 演習科目の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9
2022 春 163 科目	2,447	782	31.96	4.40 (4.23)	4.40 (4.14)	4.38 (4.10)	4.44 (4.18)	4.42 (4.20)	4.32 (4.16)	4.37 (4.14)	4.27 (4.01)	4.40 (4.14)
2021 春 165 科目	2,586	696	26.91	4.34 (4.26)	4.34 (4.16)	4.34 (4.13)	4.37 (4.20)	4.37 (4.24)	4.30 (4.21)	4.32 (4.18)	4.16 (4.01)	4.35 (4.16)

※（ ）内はアンケート全体の数値

演習科目の回答は、例年全体平均と比較して全ての項目で数値が高く、昨年度と同様の数値となっています。一方で、各科目の回答率に大きなばらつきが見られます。特に、3、4年次配当科目の回答率向上が課題といえます。また、回答者が誰もいないゼミもありました。毎回のことでありますが、これらの点に関しては、これまでと同様の課題であるように思われます。

10. 学修時間及び学修行動について

問 10. あなたがこの授業に出席した比率は、およそ何%ですか。なお、ここでいう「出席」とは、対面型・同時双方向型以外では期限内に課題を提出した場合を指します（全体に対する回答者の割合）。

	20% 以下	40% 程度	60% 程度	80% 程度	ほぼ 100%
2018 春	0.9 %	1.2 %	13.9 %	33.7 %	50.3 %
2018 秋	1.4 %	1.5 %	17.9 %	36.4 %	42.8 %
2019 春	1.0 %	1.5 %	17.0 %	34.6 %	45.9 %
2019 秋	1.1 %	1.6 %	20.1 %	36.6 %	40.7 %
2020 春	0.4 %	0.8 %	5.7 %	21.1 %	71.9 %
2020 秋	1.1 %	1.1 %	7.2 %	29.0 %	61.6 %
2021 春	0.8 %	1.1 %	9.4 %	28.9 %	59.9 %
2021 秋	0.9 %	0.8 %	11.9 %	33.7 %	52.7 %
2022 春	1.2 %	1.4 %	11.9 %	32.5 %	53.0 %

遠隔講義移行前の 2018・2019 年度に比べると、高出席率の割合が高くなっております。ただし、遠隔講義に移行した 2020 年度春学期以降で見ると、ほぼ 100%という学生は減少傾向にあり、代わりに 80%程度、60%程度の学生の比率が徐々に増加傾向にありますが、今学期は 2021 年秋学期とほぼ同様の結果となりました。

オンデマンド型の遠隔授業の場合、学生が自分の体調や都合に合わせて受講できることで高い出席率を維持しやすいかもしれませんが、対面授業が増えていく中で、徐々に出席率が 100%から 80%に、80%から 60%にと低下していつている可能性もあるように思われます。また、前回の講評でも述べましたが、出席率の上昇傾向については、進級要件が厳格化されたことも一要因とも考えられます。

問 11. あなたはこの授業 1 回に対して、予習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか（全体に対する回答者の割合）。

	全くしていない	30分程度	1時間程度	2時間程度	3時間以上	平均(分)	学修したと回答した学生の平均(分)
2016 春	61.0 %	22.4 %	9.8 %	3.0 %	3.8 %	23.09 分	59.20 分
2016 秋	63.3 %	20.1 %	10.4 %	2.6 %	3.7 %	21.99 分	59.87 分
2017 春	56.9 %	24.8 %	10.7 %	3.9 %	3.7 %	25.22 分	58.47 分
2017 秋	55.6 %	24.6 %	11.5 %	4.2 %	4.1 %	26.61 分	59.99 分
2018 春	48.8 %	28.7 %	12.5 %	4.3 %	5.6 %	31.45 分	61.47 分
2018 秋	53.4 %	25.8 %	12.3 %	4.2 %	4.4 %	27.98 分	59.99 分
2019 春	52.4 %	28.2 %	11.7 %	3.9 %	3.7 %	26.88 分	56.54 分
2019 秋	56.2 %	26.0 %	11.4 %	3.5 %	2.9 %	24.04 分	54.94 分
2020 春	26.1 %	38.8 %	25.5 %	6.8 %	2.8 %	40.15 分	54.33 分
2020 秋	26.6 %	40.8 %	23.5 %	5.9 %	3.1 %	39.02 分	53.20 分
2021 春	29.5 %	41.5 %	22.5 %	4.4 %	2.1 %	35.02 分	49.68 分
2021 秋	30.2 %	38.8 %	23.8 %	5.1 %	2.1 %	35.85 分	51.35 分
2022 春	31.5 %	39.8 %	20.8 %	5.3 %	2.6 %	35.49 分	51.77 分

以前の講評でも述べましたが、事前準備や復習を「全くしていない」と回答した割合の、2020 年度の春学期からの大幅な減少傾向が、今学期も続いています。遠隔授業において毎回課題が課されることによるものが大きいと思われませんが、それが対面授業にも波及している可能性があります。とはいえ、今学期の平均学修時間は、2020 年度にくらべると減少しています。

また、学修したと回答した学生の平均値も低い値となっています。事前・事後学習それぞれ 90 分（合計 180 分）にも程遠く、学生に学習習慣を付けさせる工夫が依然として重要な検討課題といえるでしょう。

《2020 年度から 2022 年度独自の質問項目》

問 12. この授業を受講する際に主に使用した機材は何ですか。一つ選んでください。（回答人数及び全体に対する回答者の割合）。

		パソコン	タブレット	スマートフォン	大学の PC 教室	その他
2020 春	人数	4,242	233	1,248	15	58
	割合	73.2 %	4.0 %	21.5 %	0.3 %	1.0 %
2020 秋	人数	3,228	167	1,135	36	65
	割合	69.7 %	3.6 %	24.5 %	0.8 %	1.4 %
2021 春	人数	2,698	142	1,954	100	363
	割合	51.3 %	2.7 %	37.2 %	1.9 %	6.9 %
2021 秋	人数	2,387	150	1,810	134	575
	割合	47.2 %	3.0 %	35.8 %	2.7 %	11.4 %
2022 春	人数	2,012	143	2,853	167	734
	割合	34.0 %	2.4 %	48.3 %	2.8 %	12.4 %

遠隔講義への全面移行が始まった 2020 年春学期ではスマートフォン使用比率が 21.5%であったのが 2022 年春学期は 48.3%を占めるまでに至っており、学生がこうした授業形態に慣れ手軽なデバイスで受講していることが見受けられます。また、前回に引き続き、遠隔授業の受講に大学の PC 教室を利用していると回答した学生が増えており、対面講義が少しずつ増えるなか登校時の空き時間を利用して遠隔授業を受ける学生が増えていることを反映しているとも考えられます。

以 上